

# 実績報告書

届出者	住所	大阪府枚方市招提田近2-15	氏名	森紙業株式会社 関西事業所 若林 充央
特定事業者の主たる業種		14パルプ・紙・紙加工品製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		原紙を主原料として購入し、段ボールシート及びケースの製造・販売		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間
2017年 4月 1日～ 2020年 3月 31日 (3年間)

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2016 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	4,373 t-CO <sub>2</sub>	4,557 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	4,698 t-CO <sub>2</sub>	4,772 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019年度)	第1年度 (2017年度)	第2年度 (2018年度)	第3年度 (2019年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	%	%	%
		削減率(原単位ベース)	5.0%	0.3%	%
削減率(平準化補正ベース)		5.0%	2.9%	%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(生産量)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>基準年度に比較して、生産量が増加したことにより生産効率が向上し消費エネルギー量が原単位ベースでは減少した。使用したエネルギーの内訳として都市ガスの使用量(熱源としてボイラーで使用)は生産量が増えたことにより増加したが、電気使用量は昼間の使用量を少なくして夜間使用を増やす生産計画により生産の効率化を行った。</p>
--

## (2) 推進体制

弊社は2004年に取得したISO14001の取り組みの中で、「省エネルギー対策部会」を各部署から委員を選出し、運営しております。この部会活動の取り組みの中で、使用電力量の削減を目標として設定し温室効果ガス(二酸化炭素)削減活動を全員参加により行っています。  
生産設備の効率的な運転によって時間当たりの生産量を増やし、エネルギーの効率的な使用を行って参ります。

平準化に対する取組みとしては、対策期間中の昼間は機械の使用を一部制限し、機械の同時使用を抑制することでピークカットを行います